



# 静岡県の 森林・林業職員

林業職の紹介と先輩からのメッセージ



# 「森林との共生」による持続可能な社会の実現を目指して、静岡県で一緒に働きませんか

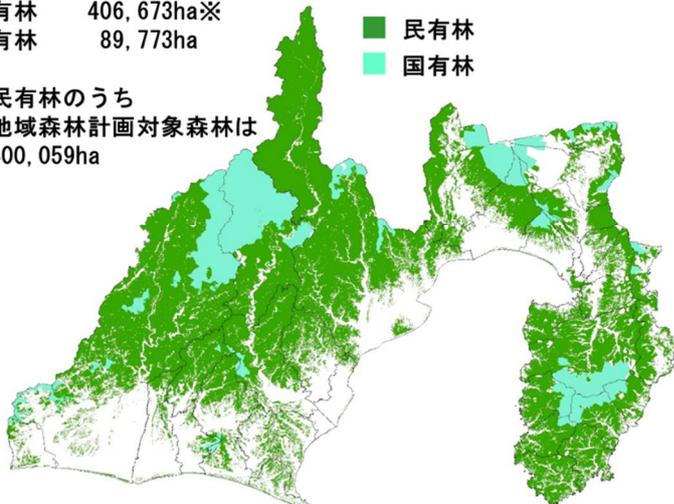


## 静岡県の特徴・強み

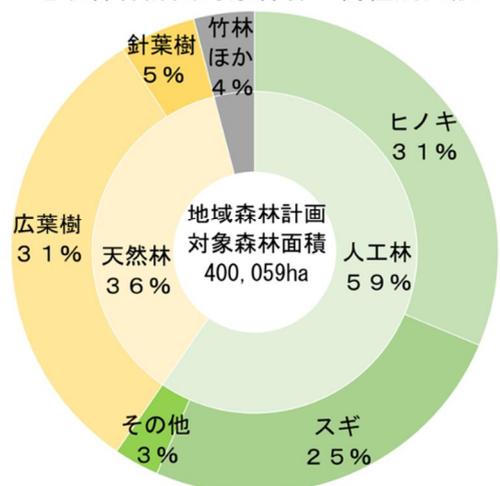
- 多様で豊かな森林**  
 海岸林から森林限界まで標高差は日本一、暖帯から亜寒帯までの人工・天然の多様な森林  
 全国でも有数の面積を誇る、環境と経済を両立させた森林管理が行われている森林認証林
- 豊富な森林資源**  
 スギ・ヒノキの人工林が民有林の6割近くを占め、そのうち木材として利用可能な森林が9割以上  
 収穫期を迎えた資源の割合が全国平均より高い人工林には大きな可能性
- 大都市圏に接続する全国屈指の交通ネットワーク**  
 東西に走る高速道路・新幹線、南北をつなぐ交通網、海外へは清水港・富士山静岡空港

県土面積 777,699ha  
 森林面積 496,446ha  
 民有林 406,673ha※  
 国有林 89,773ha

※民有林のうち  
 地域森林計画対象森林は  
 400,059ha



地域森林計画対象森林 樹種別内訳

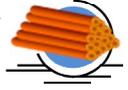


# 1 林業職の業務内容

## 森林の機能は多様、森林に関わる林業職の仕事も多様

### ◆ 普及指導・林業振興

森林整備や木材生産に関する技術指導、事業者の経営指導・支援、県産材利用の促進、  
病虫獣害対策など、森林資源を有効に活用し、林業・木材産業の活性化を図る業務



### ◆ 森林土木

計画策定、地元調整、設計・積算、施工管理など、森林災害の予防、復旧を通じて県土  
を保全する治山工事や、林業生産基盤である林道等の整備を行う業務



### ◆ 環境保全・環境教育

自然とのふれあい、森づくり活動、自然環境の保全、生物多様性の確保や野生動植物  
の管理、森林環境教育などを進め、美しく豊かな森林環境を守り、活かしていく業務



### ◆ 研究開発

森林育成、木材や特用林産物等に関する現場の課題を解消するための高度な技術の  
研究開発を行う業務



#### 【普及指導・林業振興】



林業経営体の指導



木材産業の振興  
県産材利用の促進



治山・林道工事の  
設計、積算、監督



施設の点検パトロール

#### 【環境保全・環境教育】



森林環境教育



自然環境の保全



データの解析

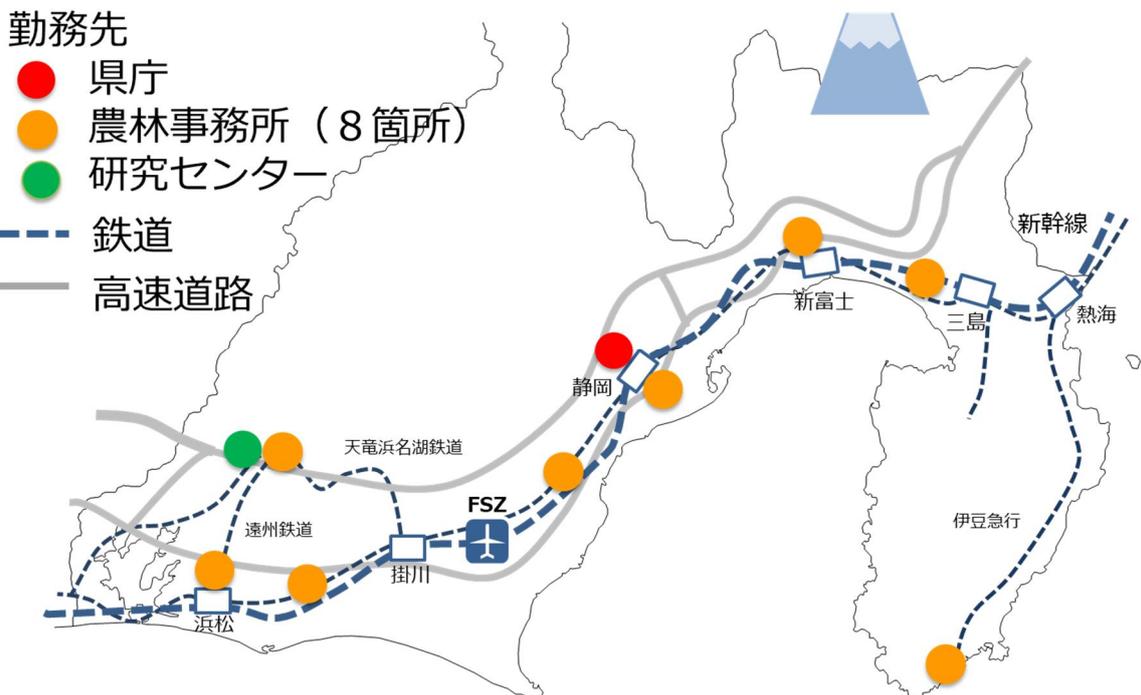
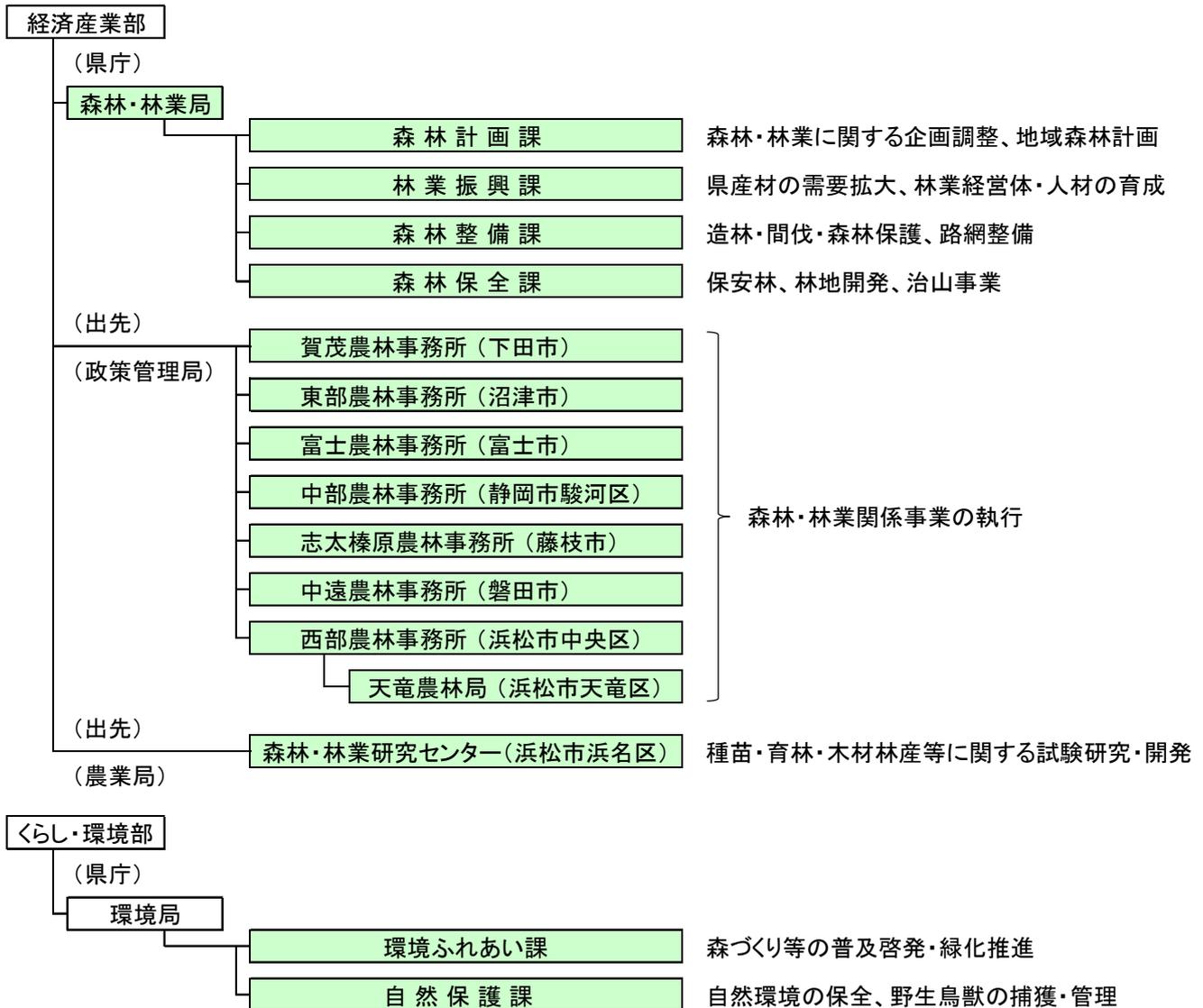
#### 【研究開発】



現地調査

地域の林業や木材産業の振興には、適切な森林管理を進めるには、  
県民の安全安心な暮らしを守るには、  
どんな仕組みや支援が必要か、何をするのが最善策か、を考えて実行する  
クリエイティブでアクティブな仕事です。

## 2 森林・林業関係の組織



## 3 先輩からのメッセージ（1）

環境局 自然保護課 自然保護班 技師 笠原 淳也（2020年度採用・静岡県出身）

### 現在の仕事

県民の皆様が自然環境の恩恵を受けられるよう、桶ヶ谷(磐田市)などの自然環境保全地域の管理を行っています。そのほか、日本平や浜名湖などの自然公園の管理をはじめとした自然環境の保全に関する業務を幅広く担当しています。

### 静岡県の林業職を選んだ理由

興味関心のあった林業に携わりたいという思いや、生まれ育った静岡県で働きたいという気持ちから選びました。また、ソフトからハードまで幅広い業務に携われることや、県内各地でさまざまな方と働くことができる点も、理由の一つです。

### やりがいを感じたこと

世界的に自然環境保全の意識が高まる中で、林業職の立場から自然環境の保全に関わることは、大きなやりがいだと感じています。また、団体や市町の方と協力して自然環境を守る取組を行うことで、地域社会へ貢献することができることも、やりがいの一つだと感じます。

### 仕事でうれしかったこと

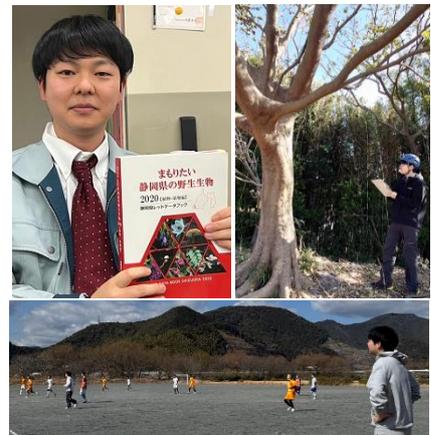
計画の変更にあたり、時間がかかりましたが、市町の職員や専門家の方と調整を図りつつ業務を達成した際には、大きな達成感を感じました。スケジュール調整や専門知識の勉強など大変なこともたくさんありましたが、同僚や上司の助力も受けながら、達成することができ、非常に良い経験となりました。

### 職場の雰囲気

同僚や上司に相談しやすく、風通しの良い職場です。自然保護課は林業職と行政職が半々の割合で構成されていますが、お互いの経験や知識を共有し、協力して業務に取り組んでいます。また、職場では定期的にサッカー大会などのスポーツ大会が開催されており、職場の方々と共に参加することで友好を深めています。

### 静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

静岡県の林業職は、森林整備や治山、環境保全など幅広い業務を担当し、様々な視点から林業に携わることができます。HPや動画などで県の仕事内容を知ることができるので、インターンシップなども含めて活用してみると良いと思います。



中遠農林事務所 治山課 治山班 技師 深川 琴末（2024年度採用・静岡県出身）

### 現在の仕事

「ふじのくに森の防潮堤づくり」による海岸防災林の再整備の工事や侵食を受けた沢を安定させる工事を担当し、監督員として現場指導等を行っています。また、過去に設置した施設を点検する治山パトロールの計画や取りまとめをしています。

### 静岡県の林業職を選んだ理由

幼い頃から自然や環境に関心があり、森林に関わる仕事をしたいという思いがありました。もともと興味があった木材生産や環境教育に加え、森林土木や林業の普及といった幅広い分野にわたって森林に携わることに魅力を感じました。

### やりがいを感じたこと

県民の生命や財産を守る仕事に携わっていることです。入庁前は工事や治山施設の知識がほとんどありませんでしたが、研修や業務を通して、災害等で荒れてしまった森林を健全な状態にしていく大事な仕事であることを知り、やりがいを感じています。

### 仕事でうれしかったこと

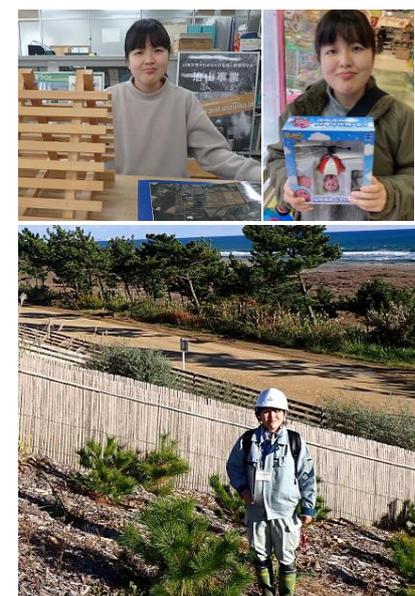
初めて工事の発注ができた時です。図面の作成や積算・設計について、先輩に聞きながら一つ一つ理解をしていき、形にすることができました。まだまだ未熟ではありますが、一つずつわかることが増えていく喜びを日々感じています。

### 職場の雰囲気

頼りになる上司、先輩に囲まれています。個々に担当業務がありますが、分からないことを聞くと快く教えてくれます。また、時差出勤や在宅勤務を利用し、生活に合わせた働き方をしている職員も多いです。

### 静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

少しでも興味があるならば、説明会やインターンシップへの参加がおすすめです。どんな職員がいるのか、仕事があるのか、実際に肌で感じることができます。また、福利厚生がとて手厚く、土日休みに加えて様々な種類の休暇制度があるため、仕事もプライベートも充実させることができる魅力があります。



## 3 先輩からのメッセージ（2）

森林・林業局 林業振興課 県産材利用班 主任 栗島 洸（2023年度採用・静岡県出身）

### 現在の仕事

私は、住宅・非住宅建築物への県産材製品の利用拡大に関する業務を担当しています。木材関係団体、製材事業者、木材流通事業者、建築関係者など、木材に関係する事業者の方々と接する機会が多い仕事です。

### やりがいを感じたこと

県産材を利用した住宅や非住宅建築物が建築されているところを見かけると、林業・木材産業に携わる方々の努力はもちろん、縁の下の力持ちとしての私たちの働きも、回り回って森林の豊かさや県民の皆様の生活の豊かさにつながっているような気がして、やりがいを感じます。

### 仕事でうれしかったこと

大学時代や前職時代にはあまり触れる機会がなかった木材利用分野の知識が深まっていくことがうれしいです。森林の多様性を未来に引き継ぐためには、それに関わる私たちにも多様な知識と経験が求められると思いますので、これからも様々な分野・立場の業務に携わり、見識を深めていきたいです。

### 入庁前とのギャップ

本庁は事務処理などのデスクワークの時間が多いだろうと考えていましたが、県産材利用班は事業者訪問や出張の機会もあり、想像していたよりも木材関係の仕事に携わっている方々の声を直接伺うことができるのが、嬉しいギャップでした。

### 休日の過ごし方

県内外の森林や中山間地域を歩いて回ることが多いです。静岡県内を隅から隅まで歩くことを目標にしていますが、まだまだ道半ばです。旅先の暮らしや自然、文化、食に触れることが何よりの楽しみです。

### 静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

森林・林業職員の業務内容は広く、深く、多岐にわたり、入庁してから新たに気付く魅力がたくさんあります。「静岡県の環境が好き」など、きっかけは些細なことでも良いと思います。静岡県の職員として森林・林業の世界に飛び込んでみませんか。



賀茂農林事務所 森林整備課 森林整備班 技師 田中 奏（2023年度採用・愛知県出身）

### 現在の仕事

森の力再生事業という県独自の補助事業及び県営林の整備・管理を担当しています。森の力再生事業では整備前、中、後の現地確認や、申請書類の確認等を行っています。県営林業務では、県が管理する森林の間伐、素材生産等の計画作成や発注を行い、受注業者と相談しながら施業を進めています。

### やりがいを感じたこと

森の力再生事業において、整備前の調査から整備後の完了確認までの一連の経過を見ていくと、荒廃していた森林が整備されていく様子が分かる点にやりがいを感じます。また、森林所有者の方から”整備してくれて助かった”などの感想をいただく機会もあり、誇りのある仕事だと思っています。

### 仕事でうれしかったこと

入庁時は現場に関する知識がほとんどありませんでしたが、現場を1年見て回ることである程度現場の様子が把握できるようになった点や、林業経営体を指導できるようになった点など、様々なところでスキルアップを実感できたことです。

### 入庁前とのギャップ

入庁前は、市町職員とのやり取りが多く現場と直接関わる機会は少ないのではと想像していましたが、実際の森林整備の仕事は施業前後の現場の確認や打合せなど、現場や林業経営体と直接関わる機会は非常に多く、現場の生の声を聴くことができる点において多くの学びがある仕事だと感じています。

### 静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

林業職は県内各地で森林整備、治山、林業振興、環境保全など様々な業務に携われることができます。また、森林という現場を直接見て、触れて、学ぶことのできる非常に魅力的な職種だと思います。森林に興味がある方はぜひとも静岡県の林業職を目指してください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



## 4 先輩の入庁ストーリー

西部農林事務所 天竜農林局 治山課 治山班 技師 楠本 優子 (2024 年度採用・愛知県出身)

### 現在の仕事

治山工事の計画・発注・監督をしています。また、年に一度、治山パトロールで、治山施設に異常がないか確認しています。覚えることがたくさんあり大変ですが、自分が設計した施設が完成すると達成感があり、やりがいを感じています。

### 静岡県の林業職を選んだ理由

子供の頃から自然に触れることが多く、自然環境に関心が高かったことから、大学では森林・林業分野に関わる勉強し、大学で学んだことを活かせる林業職を選びました。出身は静岡県ではないですが、静岡県は、幼い頃から遊びに来る機会が多く、富士山をはじめとしたたくさんの魅力的な自然があるため志望しました。

### 採用試験の勉強を始めた時期

本格的に勉強を始めたのは、大学3年の10月頃です。秋～冬は教養科目を勉強しました。専門科目は、1月頃から始めましたが、12～3月は、卒業論文に時間をかけたため、十分勉強できたのは3月後半からでした。時間に余裕がある3年の前半から勉強を始めれば、どちらの科目も十分に時間を取れていたと思います。

### 1次筆記試験の対策

教養科目は、数的処理に時間をかけました。文章理解は試験の1ヵ月前から毎日1問以上解いて、短時間で解くコツをつかみました。専門科目は、国家試験の過去問題を解き、間違えた問題は「森林・林業白書」や「森林・林業実務必携」から解説を探し、ノートにまとめました。

### 2次面接試験で心掛けたこと

面接シートを中心に質問されるので、何度も読み返しました。また、臨機応変に対応できるように、面接シートを基に、自分が何を伝えたいのかを考え、質問に答えるようにしていました。また、緊張で表情や声が暗くならないように意識しました。

### 静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

静岡県の林業職の業務は幅広く、林業振興や森林土木、環境など色々な角度から森林に関わることができる魅力的な仕事です。森林に関わる仕事がしたい方にはぴったりだと思います。ぜひ静岡県の林業職を目指してください。



東部農林事務所 森林整備課 林業振興班 技師 木本 昂汰 (2024 年度採用・宮崎県出身)

### 現在の仕事

森林整備の補助事業を主に担当し、申請書等の内容確認や現地の確認調査を行っています。また、森づくり団体の情報共有の場の提供や県民の方が森林と触れ合えるイベントの主催などの森づくり・環境教育に関することも担当しています。

### 静岡県の林業職を選んだ理由

①大学から静岡県に出てきて、とても住みやすいと感じ、そのまま静岡県に住みたいと思ったこと、②大学で造林学を専攻し、森林について興味があったこと、③前職の法面の施工管理の経験が治山業務にも活かせると思ったことです。

### 働きながらの試験勉強はどうだったか

私は、退職後の転職活動の中で、静岡県への就職を決めました。勉強を始めた時期が遅かったので、半年で一般科目と専門科目を終えるように計画を立てました。勉強をするときはとことん勉強をし、休むと決めた時は一切勉強しないというふうにメリハリをつけて、ストレスを溜めないようにしていました。

### 1次筆記試験の対策

毎日の勉強時間を午前・午後・夜の3つに分け、数的処理＋文章理解＋人文科学 or 自然科学 or 社会科学の組み合わせで計画を立てました。後半は、週に3回ほど専門試験の勉強を組み込みました。日々のニュースや Youtube で時事問題を勉強するとともに、面接試験の勉強も並行して行いました。

### 2次面接試験で心掛けたこと

面接試験は非常に苦手だったので、いくつか自分の話せる流れを決めて、どんな質問が来てもその流れに持っていけるように心掛けました。自分が面接官だったらどの部分に矛盾を感じるかを意識して回答を考え、さらにそれに対する質問も予想しておきました。本番はとにかく明るい表情をすること、ハキハキと話すことを心掛けました。

### 静岡県の森林・林業職員を目指す方へ

林業職は、森林整備・環境教育・緑化推進・治山・自然保護など事業が多岐に渡るため、様々な経験ができると思います。他部局への出向や市町等への派遣等もできる場合があるので、色々なことを経験したいという方にもおすすめです。

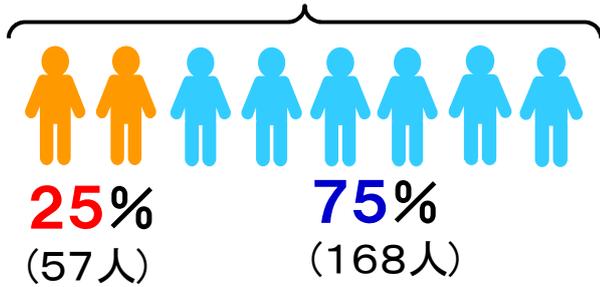


# 5 数値で見る林業職

## 林業職員の人数

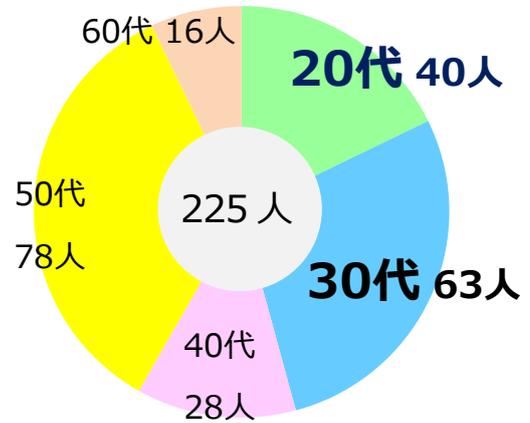
林業職員は 225 人(2025年度)  
1/4 が女性、女性職員は年々増加しています

225人



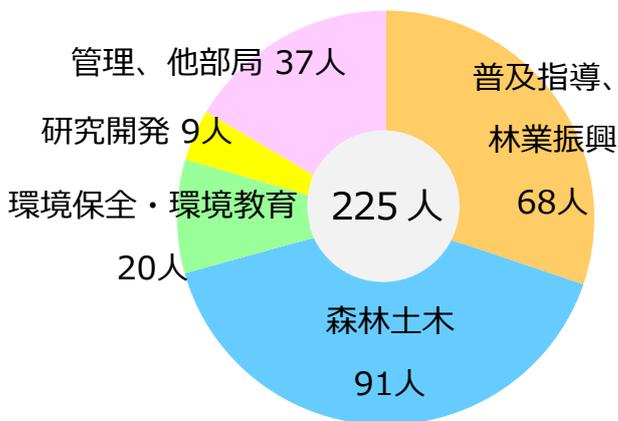
## 若手職員の割合

林業職員全体の 46% が 20 代・30 代。周りに若い職員が多く、相談しやすい職場環境となっています



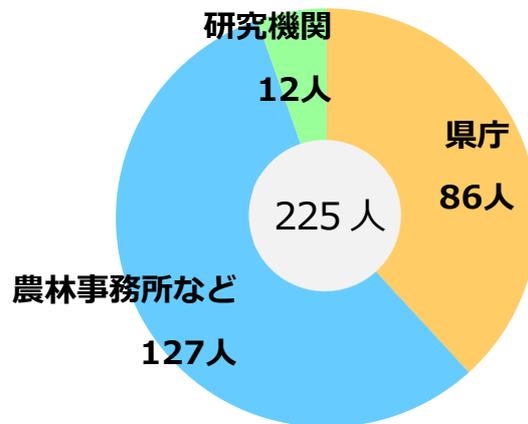
## 林業職員が担当する業務内容

林業職員が主に担当する業務内容で区分しています  
区分した複数の業務に携わる職員もいます



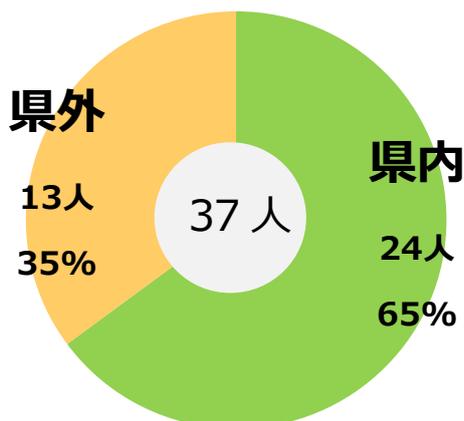
## 林業職員の勤務先

86 人が県庁に、127 人が農林事務所などの出先機関に、12 人が研究機関に勤務しています



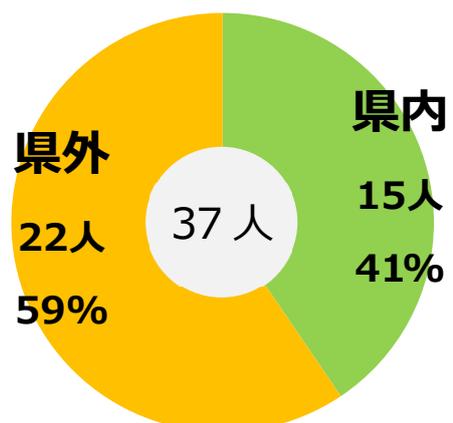
## 採用者の県外出身の割合

直近5年間(2021~2025)に採用された林業職員の1/3は県外出身者です



## 採用者の県外大学出身の割合

過去5年間(2021~2025)に採用された林業職員の6割は県外大学出身者です



# topics 森林・林業関係の取組

## ふじのくに林業成長産業化プロジェクト

林業の成長産業化に向けて、低コスト主伐・再造林の促進、効率的に木材を搬出する供給基盤の整備、林業就業者の確保、森林技術者の育成などに取り組んでいます



効率的に木材を搬出する基幹的作業道や架線集材施設

## FAOIプロジェクト

森林のデジタル情報基盤整備や林業現場への先端技術の実装に取り組む森林・林業イノベーションプロジェクト(Forestry Action Open Innovation プロジェクト)を進めています



ドローンを使った造林地の管理

## 森の力再生事業

森林(もり)づくり県民税を財源とした「森の力再生事業」により、公益性が高いにもかかわらず、森林所有者が整備できない荒廃した森林の整備を実施しています



森の力再生事業により下層植生が回復した森林

## ふじのくに森の防潮堤づくり

遠州灘海岸で、津波に対する多重防御の一翼を担う防潮堤の整備に合わせ、地域の自然環境と調和し、県民の憩いの場ともなる海岸防災林の機能強化を実施しています



遠州灘海岸の“ふじのくに森の防潮堤づくり”事業

## 住んでよし しずおか木の家推進事業

しずおか優良木材やJAS木材製品を使用した住宅の建築、店舗や事務所などの木造化・木質化を支援し、品質の確かな県産材製品の利用を進めています



県産材製品を使って建てられた店舗 (tayutau-HUT)

## 南アルプスの自然環境保全

南アルプスではニホンジカの食害により高山植物の消失や衰退が起きていますが、ドローンによる調査や防護柵の設置など、美しい自然環境を守る保全活動に取り組んでいます



ドローンで撮影したニホンジカの食害を逃れたお花畑



仕事もプライベートも  
自分らしく。  
未来へのステップを  
一緒に踏みだそう。

風を切って疾走するとき、自然の香りを感じています。バイクでツーリングしているときも、業務で山に入るときも同じ。自然豊かな静岡県を大切にしたいから、森林を守り育てる仕事にも力が入ります。豪雨で荒れた山を緑に戻すため、治山工事の監督員として、県民の暮らしを安全・豊かにするために情熱を注ぎたいと思います。

西部農林事務所 職員



## お問合せ

静岡県 経済産業部 森林・林業局 森林計画課  
(担当：大橋)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL：054-221-2422

E-mail：kanako1\_ohashi@pref.shizuoka.lg.jp

